

ぼむ・ぼむ通信

No.49

生協の組合員と日本ユニセフ協会を結ぶネットワーク通信「ぼむぼむ通信」は、生協組合員のボランティアグループで発行・編集をしています。生協のユニセフ支援活動に積極的にご活用ください。



~ユニセフ リーダー研修・交流会から~

ぼむ・ぼむ通信 49号

目次

ハイチ大地震 ~地震から半年 ユニセフ最新レポート~	1
知っとこ。ユニセフ 「募金について」	5
世界の子どもたちは今 みずと衛生「飲み水」	8
生協のユニセフ支援活動	9
* 富山県生協「2010年度ユニセフのつどい」 * ちばコープ「2009年度ユニセフ募金贈呈式」	
* なのはな生協「ユニセフスタンプラリーとチャバティを作ろう!」 * 京都生協「夏休みユニセフ親子ワークショップ」 * パルシステム群馬「ユニセフ募金贈呈式と学習会」	
トピック	13
* 2010年度ユニセフ リーダー研修・交流会 報告	
* ユニセフ・ミャンマー活動報告会 静かな緊急事態：幼い命を守るために	
パキスタン緊急募金	29

ぼむぼむ通信 活用のすすめ

- すべてのページをコピーしなくても、「知っとこ。ユニセフ」や「世界の子どもたちは今」を集めて、資料として活用いただけます。
- ユニセフのつどいやユニセフ展、学習会の際に、資料としてご活用いただけます。
- 店舗の募金箱の近くに置いて、生協のユニセフ活動を紹介する際にご活用いただけます。
- 生協の管理している文化センターなど、共用施設の雑誌コーナーなどにもご活用いただけます。
- 写真のコンテンツも充実しているので、カラーコピーでの使用をおすすめします。



© UNICEF/NYHQ2010-1355/Ramoneda

1月12日夕方、200年ぶりの巨大地震がハイチの西部を襲いました。震源は、人口が集中している首都ポルトー・プランスの南西17キロと推定されています。マグニチュード7.0を記録したこの大型地震は数秒の揺れでおさまりましたが、ハイチの子どもたちは生涯忘れることはないでしょう。

今回の地震では222,000人が死亡、300,000人が負傷しました。現在、1,190を超える仮設施設に150万人が暮らしていますが住むところを失うなど、約200万人が影響を受けたとされています。

ユニセフの活動



子どもの保護

- ユニセフが支援している225の「子どもに優しい空間」がポルトー・プランス内外の62,800人を超える子ども達に遊戯活動や心理社会的サポートを提供しました。
- ユニセフは子どもの保護分野のサブクラスターと協力して家族と離れ離れになった子どもの特定、登録、そして家族探しを拡大して行っており、6月末までには2,000人の子どもがキャンプや保護施設に登録され、337人は家族との再会を果たすことができました。
- ユニセフやNGOによって支援されている子どもの保護団体は、約6,000件もの子どもの連れ去りを空港や国境付近で取り締まりました。
- ユニセフと協力パートナーのもと、政府の様々な機関のスタッフ100名以上が子どもの人身売買、子どもへの暴力の防止策についてトレーニングを受けました。



栄養

- ユニセフは「赤ちゃんに優しいテント」に通う 23,000 人以上の母親に母乳育児についてのサポートやカウンセリングを提供しています。
- 母乳育児を受けることのできない乳児(子どもが母親と離れた場合、母親が亡くなった場合、母親が何かしらの理由で母乳をあげることができない場合などの) 3,000 人にはユニセフ主導の栄養クラスターが開発した粉末の乳児用調整粉乳が提供されています。
- 被災地域で、重度な栄養不良状態にあった子ども 2,000 人に、緊急な治療を必要とする子ども用の 28 の入院施設での治療が行われ、また、外来治療的な食事療法や栄養サプリメントを提供するサービスが 126 カ所で展開されました。
- 地震によって被害を受けた西や南西地区に住む 9 ヶ月~7 歳の子ども 186,000 人以上にビタミン A のサプリメントが配給されました。



教育

- 185,000 人の生徒がペン、鉛筆、ノートなどの基本的な学用品が支給され、155,000 人のために 1,297 の学校テントも配給されました。
- 被害地の片付け、一時的教室の設置、基本的な必需品の配給、先生へのサポートなどを通じて 100 万人以上の生徒や 55,000 人の教師が支援されました。
- ユニセフとパートナーは 2,300 人の教師、3,000 人の教育関係者に対して適したカリキュラムや生徒への心理社会的サポートについてのトレーニングを行いました。
- ユニセフは 45,520 人の 子どものために子どもの早期成長を促す機会を支援しました。
- 学校環境をさらに改善するため、ユニセフはパートナーと共に学校の給水設備や衛生施設を整備しています。6 月末までには 18 校が支援を受け、8 月までにはさらに 29 校が支援を受ける予定です。



保健

- 727 のキャンプの 27,5000 人以上の子ども達が予防可能な主な感染症に対する予防接を受けました。
- 子どもの主な死亡要因となっている下痢性疾患や肺炎に対処する薬を含む 177 の緊急医療キットの配布によって 170 万人の医療ニーズが 3 ヶ月間カバーされました。
- 出産中に問題が発生した母親の命を救う手術にも対応できる 24 の妊産婦医療キットが支給されました。



水と衛生

- ユニセフとパートナーは約 333,000 人に安全な水を輸送し、供給しています。子ども一人につき一日 5 リットルの水を確保するため、毎日 166 万リットルの水が配給されています。
- ユニセフは安全な飲料水の提供、トイレの設置、浄水錠剤や多の水と衛生製品の配布を通じて 140 万人をサポートしています。
- ユニセフはパートナーと協力して 9,000 のトイレを設置しました。これは水と衛生クラスターが 110 万人のために設置した 11,000 のトイレの 82% を占めます。
- 2,200 人の衛生推進活動者やコミュニティメンバーが石鹼を使った手洗いなど安全な衛生習慣についての啓発活動を行っており、被災した村や地域に重要な衛生に関するメッセージを広く発信しています。
- 石鹼、生理用ナプキン、歯ブラシや歯磨き粉、洗剤、トイレットペーパーなどの製品を含んだ 42,450 の大人用キットによって 213,000 人以上が恩恵を受けました。
- 学校での手洗い所、トイレ、貯水槽、石鹼の配布を通じて約 20,500 人の生徒が恩恵を受けています。

2010 / 7 / 15 ユニセフ最新レポートより



震災後、起こらなかったことは何？？？



今回の報告書は「ハイチの子どもたち：成果と展望 - 震災から 6 カ月」と題され、「震災後、起こらなかったことは何か？」という間接的な問い合わせから始まっています。

それについてユニセフ・ハイチ事務所フランソワーズ・グルロース - アッカーマン代表は「経済が深刻な影響を受け、子どもたちの世話をする人々が 以前のように活動できなくなったりにもかかわらず、非常に懸念されていた子どもたちの間の栄養不良の蔓延は、これまでのところ確認されていません。多くの被災者が集まりいつの間にか避難所と化した場所があったり、水と衛生のインフラが崩壊しているにも関わらず、感染症の大量発生も確認されていません。なぜでしょうか？それは飲料水が配給され、衛生施設(トイレ)が設置され、食糧などが提供されてきたからです。これらは "当たり前" のことかもしれません、私は敢えて言及すべき重要なことだと思います。なぜなら、私たちは当初、状況をとりあえず安定化させることを目指していましたから。」と話しています。

「赤ちゃんに優しいテント」には、子どもたちの命を救う支援が用意されています。地震で夫を亡くしたカミール・ステファニアさんも息子と共に避難所に設置されている「赤ちゃんに優しいテント」を利用しています。ここには母乳を与えるための安全でプライベートな場所があり、離乳食についてのカウンセリングや、病気にならないように、生後 6 カ月間の完全母乳育児に関する助言なども行っています。

2010 / 7 / 9 ハイチ・ポルトープランス発



© UNICEF/NYHQ2010-1364/Ramoneda

ハイチ緊急・復興支援募金に取り組んでくださった生協の皆様、

ほんとうにありがとうございました。

~約 170 生協から、1 億 5 千万円以上の募金が寄せられました~

ユニセフの報告書を読んでいると、一番支援を必要とする所に確実に支援をして成果を出していく「ユニセフ」の地道で根気のいる「仕事」が伝わってきます。

ハイチの子どもたちは、世界の人々が自分たちの国の復興に关心をよせ、協力していることにとても感謝しているそうです。全国の生協から寄せられた「募金」が “ハイチを子どもにふさわしい国にするために” 確かに役立っていることを感じました。

ハイチへの「关心と協力」引き続きよろしくお願ひします。

ハイチ地震緊急・復興支援募金

ユニセフはハイチでの活動資金として 1 億 7,275 万 7,000 米ドル（日本円で約 158 億 9,400 万円）の支援を国際社会によりかけています。日本ユニセフ協会でも引き続き募金を受け付けておりますのであたたかいご支援よろしくお願ひいたします。

郵便局（ゆうちょ銀行）振替口座：00190-5-31000

口座名義：財団法人 日本ユニセフ協会

通信欄に「ハイチ」とご明記ください。

* 送金手数料は免除されます。

知りたい？ 知っとこ。ユニセフ 募金について ②

募金シリーズ 2 回目です。

ユニセフの活動資金は 100 パーセント 各国政府からの拠出金とみなさんからの拠出金（募金）により成り立っています。ユニセフを支えるために 募金が必要な訳 おわかりいただけましたか。

今回はその募金がどんな支援基準のもと どんなことに使われているのか。お伝えします。

ユニセフの支援基準って なに？

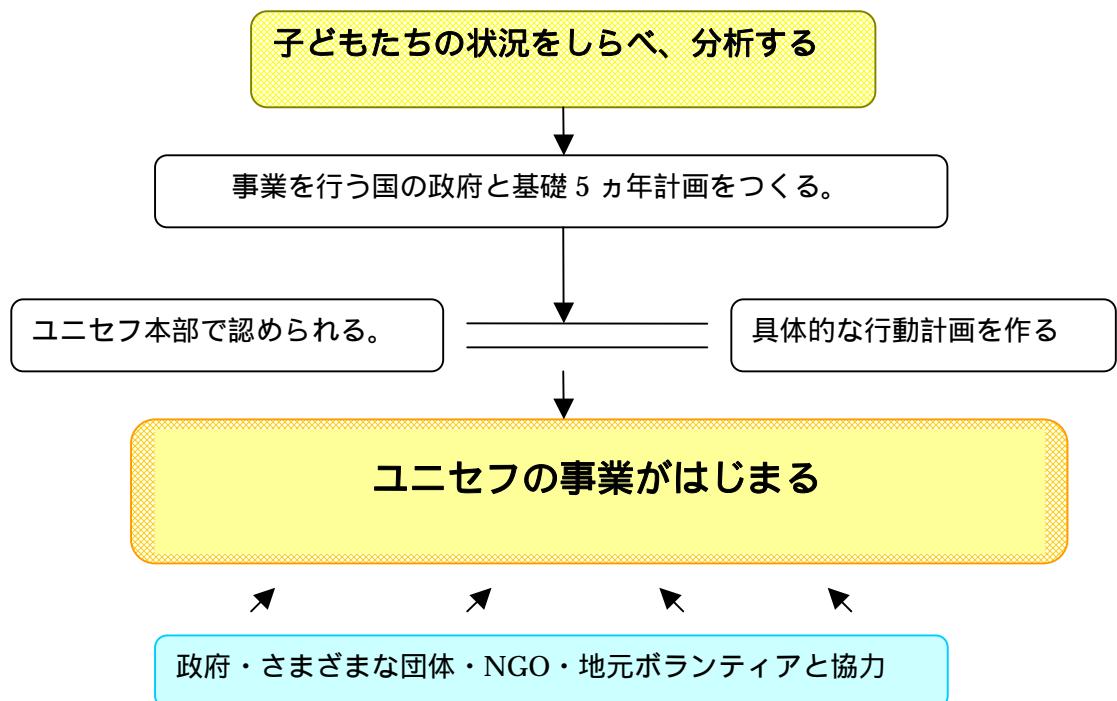
5 歳未満児死亡率（1,000 人中 5 歳になる前に命を失う子どもの数）

所得水準（一人あたりの国民総所得の額 国民全体が働いて得たお金の合計を国民の数で割った金額）

子どもの人口（18 歳未満の人の数）

これらの基準から、その国と地域で支援活動を行うかどうか決め、 その国とユニセフ現地事務所が一緒に事業計画を作り、ユニセフ本部の承認を経て事業を行うのです。

ユニセフは、どの地域の人々や子どもがどんなことで困っているのか、どうすれば生活がよくなるのかを調べます。それから予算を立ててプロジェクトをつくり、その国の政府やさまざまな団体、地元のボランティアなど多くの人々と協力して活動します。



どんなことに 使われているの?
ユニセフの 5 つの重点活動分野をご紹介します。

十分なケアを乳幼児に

保健・水と衛生・栄養

安全な水・ワクチン・ビタミンA・マラリア
ア予防用の蚊帳・母乳育児・栄養のある食事などの母親教育・衛生環境改善

すべての子どもに教育を

教育

教材・ノート・黒板などを届ける
学校に衛生設備（井戸やトイレ）を設置
教師育成
女子教育を推進

エイズと闘う

母子感染や若者感染拡大を防ぐための教育・エイズ孤児への支援・感染者の治療などのサポート

子どもの保護

保護

（子どもの保護・暴力・搾取・虐待の予防と対策）戸籍のない子・孤児・難民・ストリートチルドレンは特に人身売買や強制労働などの被害にあいやすい。その危険から守る

子どもにふさわしい世界をめざして

子どもを守る法律や政策が各国でつくれること・教育などに各国が十分予算が確保されること・パートナーである各国政府や他の国連機関などと 協力して取り組んでいる。

保健・水と衛生・栄養・教育・保護

ユニセフの具体的な仕事です。
きれいな水・ビタミンA錠剤・予防注射・高栄養ビスケット・下痢を防ぐ経口補水塩 マラリアを防ぐ蚊帳。それらで助かる命があるのです。募金はそれらを買うことだけでなく 届けること。使うことを広めること。必要なことをわかって貰うこと。などの付随した様々な活動にも使われています。
子どもたちが学校にいけるように。児童労働・子ども兵士など過酷な環境から守られるように。ユニセフ募金は使われています。

もう1つ・・ 募金の使われる大切な分野

緊急支援

自然災害・紛争など、様々な緊急事態から子どもたちが守られることをめざして 活動します。

保健・水と衛生・栄養・教育・保護

ユニセフの仕事・・

2004年12月

スマトラ沖地震では 120万人にはしかの予防注射を 100万人以上に安全な水を

「バック・トゥ・スクール」キャンペーンなどによって 地震発生後 3ヶ月までに 90パーセント以上の子どもが学校に戻ることができました。

パキスタン地震・ニジェールの干ばつ・スーダンにおける紛争 ハイチ地震など 緊急支援がつづきます。

100円で出来ること

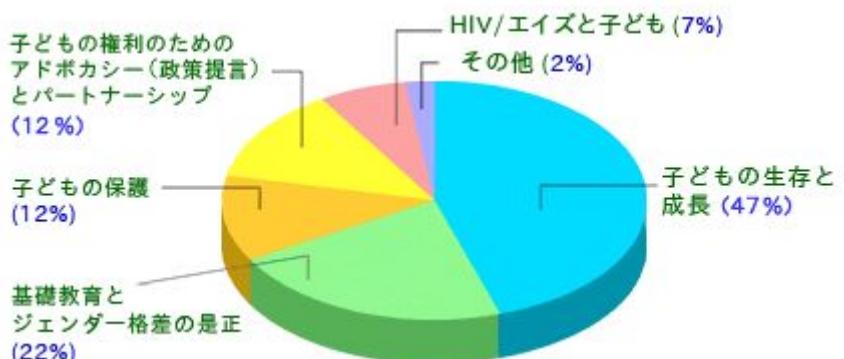
ポリオから守るワクチン・・・6回分

下痢から守る経口補水 塩・・・18袋

一錠で4~5リットル の水をきれいにするこ とのできる薬・・・80錠(ユニセフ手帳より)

*為替等の変動で変動 します。これは1ドル、 105円で計算したもの

ユニセフ中期事業計画 **重点分野**別の事業支出割合(2009年)



ユニセフ収入の内訳(2009年)



日本ユニセフ協会HPより



世界の 子供たちは今

水と衛生 「飲み水」



人間のカラダの 60~70% は「水」!
だから「水」は命の基本なんだね。

うん! 見てごらん。 ユニセフは汚れた水しか飲めない子
供たちに安全な水を・・・って「井戸」を掘っているんだ!



そうだね。 でも「井戸」を掘るだけが「水の支援」じゃないんだよ。
色々な状況の国があるからね。 ユニセフはそれらの国の政府や NGO、
さまざまな企業や地元の人々と協力して、本当に必要な支援をしてるんだ。

緊急支援



【紛争や大きな災害が起こった時、いち早く「水」を届ける】

給水車で



ペットボトルで



浄水剤



家庭用浄水セット



【紛争などで水道管や下水道管を
破壊されたところでは】

掘削機の提供
修繕



【雨季と乾季がある地域では】



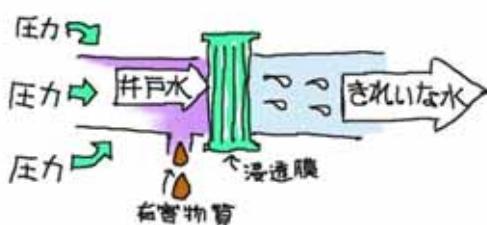
乾季の深刻な水不足を
解消するため、
雨季に雨水を貯めると、
一家の一年分の水源に
なる



雨水を貯める貯水槽の設置



【井戸水に有害物質が
含まれている場合】



給水所に「逆浸透装置」を付けて
安全な水にする。

最新の科学技術も使
われているんだね!



【水資源の乏しい地域では】

給水システムを導入。
それを動かす動力として
「太陽電池パネル」を利用。





夏休みということもあり、親子向けの学習会が各地で開催されました。どの企画もクイズや体験などを通して楽しみながら学べるよう工夫されています。



富山県生協 2010 年度「ユニセフのつどい」



富山県生協は、7月をユニセフ月間と位置づけ、ユニセフのつどい開催とユニセフ OCR 募金に取り組んでいます。

9年目の2010年度「ユニセフのつどい」は、7月11日(日)とやま古洞の森を会場に、10家族37名とユニセフ俱楽部スタッフ10名とで、『ハイチの子ども達は?』と題して、現地の子ども達の現状とユニセフの活動について考える体験学習会形式で開催しました。今年の1月ハイチで発生した大地震で、一瞬にして家族も家も失ってしまった人々、そしてその人々のためにユニセフはどうしたのかを、『被災者』と『ユニセフスタッフ』の2グループ(計4グループ)に分かれ、ハイ

大地震により一瞬にして倒壊した街の様子を写真で確認しながら、大人も子どもも一緒にになって考えました。

チ地震で何を支援して欲しいのか、何を持っていけばよいのかを話し合い、なぜそれを決めたか発表するワークに取り組みました。

引き続き、スタンプラリー形式で2つのワーク(『経口補水液の作り方』『ユニセフ俱楽部オリジナルかるた ユニセフかるたで遊ぼう!』)を体験しました。



つどい終了時、ユニセフ俱楽部より子ども達一人ひとりに、ユニセフ活動を学んだ証明と引き続き世界の子ども達にも目を向けていくようにとの願いを込め、修了証と冊子『ユニセフと世界のともだち』を渡し、終了後、バーベキューで親睦を深めました。

ユニセフ俱楽部オリジナル ユニセフかるたで遊びながら、ユニセフの活動を学びました。

* 参加者の感想 *

- 経口補水液を飲んでまずかったけど、貧しいハイチの国では、それがきっと薬のように思って大事に飲んでいるんだと思います。ユニセフの人は、それを一生懸命に助けようとしていることがわかりました。わたしたちも協力したいです。(8歳)
- ハイチの人は貧しい生活をしてかわいそうだと思います。ハイチはわたしたちと違って貧しい生活だと思いました。わたしは協力したいです。(7歳)
- ユニセフで集まったお金がどんなことに、どのように使われているのか、世の中に困っている人がたくさんいることを子ども達にきちんと伝えたいです。

富山県内在住の音楽家がCDの売上金全てをユニセフへ募金！

～ 売上金はすべて、富山県生活協同組合を通じユニセフに寄付 ～

富山県射水市在住の音楽家滝沢卓さんが
世界の子どもたちのために何かできないかと
県内の子どもたちと共にCDを作成しました。
売上金全ては富山県生活協同組合を通じ
ユニセフへ募金していきます。

作詞 金川欣二

作曲 滝沢 卓

うた 金川睦美

コーラス つくし保育園 アソカ合唱団 金山小学校

中太閤山小学校ひまわり学級 若葉保育園

【CDについて】

CDは滝沢卓さんの自己資金で作成されました。

CDは1枚500円で販売します。県内楽器店でも販売。

売上金は500円全額ユニセフに寄付します。



世界の子どもたちへ

CD『ねがい』ジャケット



ちばコープ 2009年度ちばコープユニセフ募金贈呈式



6月17日(木)「2009年度ちばコープユニセフ募金贈呈式」が行われ、組合員から寄せられた総額2223万1806円の募金が、(財)日本ユニセフ協会千葉県支部へ贈呈されました。この募金活動は、2009年度に取り組んだ一般募金(お年玉募金やハンド・イン・ハンド募金など)、指定募金(人身売買からラオスの子どもたちを守るプロジェクト)、フィリピン・サモア・スマトラ自然災害募金、ハイチ地震災害緊急募金などになります。

贈呈式でちばコープの田井理事長は「ユニセフの活動には、組合員の大きな支持が寄せられています。その中で様々な活動が皆さんのご努力で展開されていること、本当にありがとうございます。今年も組合員のたくさんの期待、募金が寄せられましたので、贈呈をさせていただきたいと思います」とあいさつ。また、(財)日本ユニセフ協会千葉県支部の斎藤康会長より「ちばコープの組合員の方々の真心を通じて、ユニセフに多額の寄付を毎年いただいていることについて改めて感謝申し上げます。ありがとうございます」と感謝の言葉が伝えられました。

ちばコープでは、今後も(財)日本ユニセフ協会千葉県支部と協力して、日々のユニセフ活動の輪を県内に広げています。



なのはな生協 ユニセフスタンプラリーとチャパティを作ろう!

7月29日、市川男女共同参画センターにおいて、なのはな生協ユニセフ委員会夏のイベントとして、「ユニセフスタンプラリーとチャパティを作ろう！」を開催し、親子約40名が参加しました。



スタンプラリー形式で、参加した親子がチャパティをこねて、それが発酵している間に、ユニセフのビデオを1本見て、ユニセフ関連のクイズに答えて、最後にこねたチャパティを焼いてカレーと一緒に食べました。ゴールにはアイスキャンディもついていました。

参加された子どもさんは5歳から小学6年生で、5歳児には少し難しいかな？と思ったビデオもアニメーションのせいかよく見ていました。上映したビデオは「すべての子ども達のために、一枚のユニセフカードから」で、ユニセフカードの始まりがわかりやすくまとめてありました。一緒に参加されたお母さんたちもユニセフにこういったビデオがあるのを改めて知ったようです。その他にも、ユニセフの活動と水の大切さを伝える資料として、ユニセフ手帳やばむばむ通信48号に載っていた「知っとこユニセフ、募金について」と「世界の子どもたちは今、水と衛生編」をコピーして配布しました。

初のスタンプラリー形式のイベントでしたが、お子さん達はとても楽しかったようです。参加費は1人200円でした。当日一緒に販売したユニセフカードの売上も入れて9,050円をユニセフに寄付しました。



京都生協 夏休みユニセフ親子ワークショップ

開催日 7月27日（火曜）

会場 せいきょう会館



今年の参加は5組12人、小学1年生～4年生までの7人の子どもたちが元気に参加してくれました。日本ユニセフ協会大阪支部の学習ボランティアさん3人から、ユニセフの活動内容、ユニセフ活動を支える募金のこと、ボランティアさんが実際に視察された支援国の1つ、ブータンという国のことなどについてお話をいただきました。

続いて体験学習では、病気で脱水症状に陥った子どもの症状を改善する経口補水塩を試飲しました。「まず～い」「変な味」という子どもの声も聞こえましたが、通常の水の25倍の速さで体内に吸収されるので、小さな命を助けられることを教えてもらいました。続いてネパールで実際に使用されている水がめを使って水汲み体験。でも重すぎて低学年の子どもたちは持ち上げることもできませんでした。

続いて十分な栄養がとれずに餓死していく子どもの腕の太さに穴を開けた画用紙を見せてもらい、その細さ（直径約2センチメートル）に参加者全員がびっくり。自分たちの腕もメジャーで測り、こんなになるまで痩せて亡くなる子どもがいることに大きなショックを受けた様子でした。

子どもたちからは、「(お水を)まいにちはこぶのはたいへんだとおもいました」「子どものうでの細さがびっくりしました」大人の参加者からは「(子どもたちが)今の自分のいる状況のありがたさを認識してほしいなあと思いました」「地域の取り組みとして考えていきたい」などの感想が寄せられました。



パルシステム群馬 ユニセフ募金贈呈式と学習会



7月21日(水)パルシステム群馬東毛センターにて、日本ユニセフ協会の金子さんをお呼びして「ユニセフ募金贈呈式」ならびに学習会を開催。夏休みの初日でしたが、大人9人と子ども5人が参加しました。

最初に、2009年度に集まった募金714,361円の贈呈式を開催。

次に、人がコマになりサイコロを振って進む「ユニセフすごろく」を実施。すごろくのマスには「発育状況がよくないので栄養指導を受ける、1マスもどる」や「家の近くに井戸ができる水汲みにいかなくてもよくなった、1マス進む」など、開発途上国の子どもたちの現状が書かれています。マスに止まるごとに、クイズや写真を使ってわかりやすく説明していただきました。

10才前後の女の子の仕事とされるのが「水汲み」です。口いっぱい今まで水の入った水がめの重さにびっくりした参加者。そして、水汲みの仕事があるために学校に通えなくなってしまう子どもがたくさんいることを学びました。

ユニセフが子どもたちに配布する学用品キットの中に入っていた「黒板」。なんで子どもたちに黒板?と不思議に思いましたが「ノート」は一度書けば終わってしまうけど、黒板なら何度も字を書けるから」という言葉がとても印象的でした。

最後に、実物大の地雷は鉄でできていて、売るとお金になるために手を触れてしまったり、また子どもの興味を引く形にできているため、怪我をしたり命を落とす子どもがたくさんいる話を聞き、衝撃を受けました。「地雷=危ない、近づかない、触らない」と教えることは、ユニセフの大切な仕事なのです。

今の日本では、ごく当たり前の予防接種、水道、トイレ、学校など。しかし、世界全体ではまだまだ不足しており、3秒につき一人の子どもの命が失われています。

今回のような学習会は、私たちに何ができるのかを考える、とても良い機会になりました



2010年度ユニセフ リーダー研修・交流会

2010年度ユニセフリーダー研修・交流会が8月23日から24日まで東日本会場で、8月26日から27日まで西日本会場で開催されました。東日本会場は8会員35名、西日本会場は13会員40名の参加でした。ユニセフ現地報告や参加者からの活動紹介、ワークショップなどを行い交流を深めました。



ユニセフ現地報告

ユニセフ 中央アフリカ事務所 松永 恵津子さんのご報告

松永 恵津子さんは、外務省JPO派遣制度で、2009年の4月から中央アフリカのユニセフ事務所において、評価モニタリングを担当しています。この度一時帰国中に生協リーダー研修・交流会にて、現地の状況についてご報告いただきました。

中央アフリカは、北半球の赤道直下に位置します。日本からパリ、パリから飛行機で約6時間半、首都のバンギに着きます。中央アフリカでは、1年の半分以上が雨季です。今年は5月の終わりごろから雨季に入りましたが、どしゃぶりの状態が続きます。首都のバンギを含め、中央アフリカの南部は熱帯雨林です。観光施設として自然公園があり、多くの野生動物もいます。しかし、国内での移動は、道路事情が大変劣悪で困難です。性能の良い車でしか移動ができず、目的地まで途方もない時間がかかります。

中央アフリカは、南西のコンゴ共和国、北はチャド、東のカメルーン、北東にはスーダンと国境を接しています。近年、ウガンダの政府反乱軍が住民に対して行われる殺人や誘拐などの問題を抱えています。

中央アフリカの概要

首都：バンギ

人口：4,339,000人

面積：622,984 km²（日本の1.7倍）

宗教：キリスト教、イスラム教、伝統的信仰等

独立記念日：フランスの植民地から1960年8月13日に独立

言語：サンゴ語、フランス語

政体：共和制

大統領：フランソワ・ボジセ

政権が変わることにクーデターが続きます。2011年に大統領選挙が行われる予定です。

主な産業：コーヒー、綿花、タバコ、鉱工業ダイヤモンド

1人あたりGDP：410米ドル（179位/182カ国）



中央アフリカの紛争



中央アフリカは、自国内で武装戦闘、紛争地域を抱えています。 「神の抵抗軍」と自称しているウガンダの政府反乱軍は、北ウガンダで紛争をしていましたが中央アフリカや周囲の国に流れきました。

中央アフリカの住民は森に隠れたり、チャドへ難民として紛争から逃れたりします。このような状況で、学校も閉校が続きます。2010年に和平が結ばれましたが、未だに反乱軍は家畜や

学校を狙うなどの暴力行為を繰り返しています。



2011年の中央アフリカは、協和国安定？それとも混乱？



政府反乱軍の兵士たちは武装解除社会復帰(DDR)を義務づけられ、武器を持たずに社会復帰をする支援を受けます。もうすぐ大統領選挙のキャンペーンが始まりますが、それに対して武力行使を行う人たちが出てくると予想されています。政府反乱軍などの暴力的行為は、北部の慢性的な貧困が原因だと考えられます。彼らにとっては、それが家族を守り資金を集めるための方法なのです。



CAR クイズ！

CAR=セントラル・アフリカン・リパブリックの略

CAR クイズ 2：アフリカで主食として食べられる芋、キャッサバ

子どもの健康、水・衛生の指標

新生児 28 日目死亡率： 115 人 (1,000 人あたり)

5 歳未満児死亡率： 173 人 (1,000 人あたり)

妊産婦死亡率： 980 人 (100,000 人あたり)

予防接種率：32%

HIV 患者率：6.3% (地方によっては 15%、北部では 30% までのばると推定されています。)

平均寿命：47 歳

安全な水にアクセスできる割合：31% (汚水処理の施設が不十分であり、川に近いので洪水が起き、感染症などが広がる危険性があります。)

小学校の就学率：59%

女児就学率：45%

小学校修了率：39%

識字率：49% (会話はできるが、パンフレットなどの単純な物が読むことができない。)



5歳未満児の死因

1. 新生児期の死亡（破傷風、難産の呼吸困難、未熟児など）
2. マラリア
3. 急逝呼吸器疾患、肺炎
4. 下痢
5. HIV エイズ（抗レトロウイルス薬の欠如）
6. はしか（抵抗力が弱まっている子どもの生命を脅かします。）
7. その他の事故（子どもが保護されないがために、起きる事故。魔女裁判、悪魔の子どもだといって暴力を受ける子どももいます。）



新生児死亡率の間接的原因

新生児（1歳を迎える前）で亡くなる子どもの50%が、24時間以内に命を落としています。医療スタッフの人材不足、過疎部には看護士さえいません。ある州では、人口8万に対し、医者が4人程度しかいません。そのような状況でも、医者が、直接家庭に駆けつけて帝王切開を行うこともあります。たとえ帝王切開で出産できたとしても、保育器などの医療機器が不足しており、未熟児や呼吸困難に陥った新生児の命を守ることができません。保健分野に対する国家予算は18%を充てると公約されていますが、その予算では現状を改善することは極めて難しいといわれています。また、医療施設も不十分であり、寄付された医療ベッド等しかない病院をよく見かけます。



マラリア

- 小児科外来診察の4割がマラリアに関する症状
- 32%の子どもがマラリアを経験
- 5家族に1家族のみが、蚊帳を持っている
- 5歳の15%のみが蚊帳の下で就寝（蚊帳を正しく使わない、家族の人数が多い）

~2010年110万の蚊帳を配ろう~

蚊帳の正しい使い方を普及 “Communication For Change

ユニセフは、「行動変容のためのコミュニケーション」を重要視しています。

「行動変容のためのコミュニケーション」

* 4つの生活習慣を身につけてもらう *

1. せっけんで手洗い
2. 蚊帳の下で就寝（就寝時に気をつければ、マラリア感染は大分防ぐことが可能）
3. 生後6ヶ月の乳幼児の授乳
例：母親が赤ちゃんに対するごはんの与え方を知らない。キャッサバなど乳児が噛みづらい、あるいは消化が難しい食べ物を与えてしまう。
4. 乳幼児が下痢の時は、経口補水塩を与える

コミュニティが一丸となって、この生活習慣を身に着けることが必要です。時間はかかりますが、ゆっくり丁寧に説明して「行動変容のためのコミュニケーション」を行うのが今後の成果につながると考えられています。



基礎教育

教員資格を得ずに、小学校で教えている教員が多いなど、教育の質を改善する必要があります。国の予算不足（教育予算：政府予算の 9.7%）のため、PTA が自分たちの子どもの学校で授業を実施している地域もあります。そのような人材不足等の影響で、半日で授業が終わってしまうことがあり、小学校の修了試験に合格することも難しい状況です。

教育に関する主な課題：

- 教材不足（ユニセフの教材も間に合っていない）
- 両親の学校（教育）に対する認識が低い
- 子どもたちは、家族の家事や仕事の手伝いを任される
- 教員の慢性的な人材不足（教員の卵も、紛争地域には行きたがらない）
- 教員として訓練を受けた若者も、給料が低く、他の職業についてしまう
- 国家認定の公式な就学過程カリキュラムを教育省で策定中



子どもの保護

- 49%の出生児が戸籍を取得（子どもたちの戸籍取得が難しい。地方によって異なるが戸籍取得には4米ドルかかる。）
- 25%の女子が15歳未満で結婚
- 北部紛争地域では、140,000人の子どもがエイズや紛争により孤児
- 国内避難民 192,000人
- 子ども兵士の1,100人が社会復帰、まだ300人の子どもが従軍している
- 北部地域の女子が性的暴行を受けるリスクは南部地域に比べて1.9倍も高い
(アメリカの団体の調査によると、北部ウガンダ、コンゴ民主、ダルフールに比べて、3倍高いと考えられる)
- 8%の子どもたちが体罰を受けている（2006年）
- 年間43,680人の女性が、性的暴行を受けている



予防接種

- 32%の子どものみが必要な予防接種を適切な時期に受けています。
- 予防接種が害になると考える人たちもいるなど予防接種に対する人々の意識を改善する必要があります、予防接種における行動変容のコミュニケーションも重視されています。
- 地方へのワクチン輸送が難しい（冷蔵完備のトラックが不足。電気がないため、ガソリンを使用した冷蔵庫などの機材がない。保健員が各世帯に訪問するための交通手段がない。メンテナンスの問題等。）



水と衛生

清潔で安全な水を手に入れることができる人は限られており、給水施設の備わった診察所や小学校も不足しています。31%の住民のみが、適切な衛生施設(トイレ)を使用しています。衛生施設がある場所でも、使用されていないこともあります。



栄養

- 新生児 13%が低体重児
- 子どもの 38%が慢性栄養不良
- 子どもの 10%が急性栄養不良
- 子どもの 43%が発育阻害、微量栄養素の欠乏症
- ビタミン A の普及不足
- 23%乳幼児のみが 6 ヶ月授乳



妊娠婦ケア

- 980 人 (100,000 人あたり) 乳産婦死亡
- 40%の妊娠婦が周産期健康診断を 4 回受診、69%は 1 回のみ
- 51%の妊娠婦が医療機関にて出産
- 53%の妊娠婦が助産師の立会いにより出産

見せていただいた写真：1980 年代にドイツから寄付された 2 つのベッドのみが置かれた病室の様子。地方の病院に行くと、人材不足により専門医に会うことが難しい。



子どもたちと女性を暴力から守る

MICS (複数指標クラスター調査) によると、35%の 15 歳以上の女性が恋人または配偶者から何らかの身体的暴力を受けている (首都バンギ内 : 約 45%) ことが分かりました。学校や地域での子どもの体罰は 88% にものぼります。エイズや紛争で親を亡くした子どもたちは道端 (ストリート) での生活を余儀なくされます。このような状況により、多くの子どもたちは強制労働ではなく自ら働くことを希望します。5-6 歳の子どもたちでさえも、泥にまみれてダイヤモンド鉱山で働きます。ユニセフはこれらの子どもに教育の重要性を呼びかけますが、お金がない彼らは興味を示しません。また、「悪魔の子ども」「魔女」と呼ばれ、子どもや女性たちが投獄される、「近所のおじいさんが死んだ」などの理由で、弱い立場にいる人が非合理な判決が言い渡されるというケースもあります。紛争のある地域では、多くの子どもが日々暴力を受けています。

これらの暴力の背景として、中央アフリカの女性の声が反映されにくい社会的環境が関係していると考えられます。国會議員の中にも、女性議員は指折りで数えられるほどしかいません。男性に支配された環境で、女性の社会的進出が相当限られています。



道路、交通インフラ

道路の状態が非常に悪く、地域へのアクセスは困難です。道路がしっかりとできていない場所では、大雨により水が溜まるなど通行を妨げます。



輸送、交通、物資調達

中央アフリカの輸出・輸入の通関手続きは、汚職等が理由で、正規の提出書類が承認されるまでに時間とお金がかかります。ワクチンや栄養補助食には賞味期限があり、早急に配布したいが、中央アフリカは内陸地で水運輸送手段が発達していないなどの原因により、ダルフール難民キャンプへ生活必需物資を届ける際にも最低2週間はかかりました。

また中央アフリカでは、完全な電気のアクセスがありません。1日に5時間しか電気が使えない、バンギ市内でさえ停電が連日続きます。その時には、石油ランプやろうそくを使っています。停電は、学校や保健施設の運営にも影響を及ぼします。また、ガソリンスタンドが地域に7箇所しかないなど、人々が地域に留まってしまう状況が分かります。



ユニセフの「評価・モニタリング」

ミレニアム開発目標の達成状況を測定するため、ユニセフをはじめ各国際機関は、開発支援プログラムにおける、「評価・モニタリング」を重視します。しっかりと成果を数字にして開発目標の達成を確認できるように、以下の項目を考慮しながら「評価・モニタリング」の改善を目指します。

- ・ 深刻な開発途上国への人道・開発支援は、果たして成果が出ているか？
- ・ ずっと行っている援助に劇的な成果がみられないのはなぜだろうか？
- ・ 統計調査、指標評定方法は正しいか？
- ・ 実際に人々の生活は向上しているのか？実際に人々は何を感じているのだろう？など現状の調査、モニタリング（時間を要します）
- ・ 内部格差の問題？
- ・ 本当に援助を受ける側の立場になって行動しているだろうか？
- ・ 援助する側、援助される側、それぞれの役割を見直す。



MICS（5年に1度、行われる調査）

2010年6月～12月、中央アフリカ全土で実施中です。

質問表

- ✓ 世帯の質問表：家族構成、家のつくり（ブロック/木材）など細かい内容
- ✓ 子どもの質問表
- ✓ 女性の質問表
- ✓ 男性質問表（中央アフリカ独自）

発育状態、栄養状態、食生活、教育を調査します。

30ページほどの質問表で、約2時間かかります。



質疑応答

Q : 80%以上の子どもが虐待を受けているそうですが、どのような理由でしょうか？

A : 「言うことを聞かない」という理由です。特に女性は、親戚であっても男性と外出した際には、暴力を受けることがあります。男性が、コントロールするという面があります。

Q : 戸籍がある子どもだけが学校に行けるのでしょうか？

A : はい、そうです。ですから、子どもの教育において、国にも責任があります。そして、戸籍がないということは、人身売買や子どもたちの危険性につながります。

補足：予防接種は、戸籍がなくても受けられます。（予防接種カードをもらう）

Q : なぜ反乱軍は学校を狙うのでしょうか？

A : 反乱軍は、物資がほしいがために学校も狙います。学校は立派な建物であり、反乱軍は、机やドアなど金目になるもの全てを盗み、闇市で売ります。また、麻薬等で感覚が麻痺しているので、殺人などの暴力行為にもつながってしまいます。

Q : 中央アフリカの人たちを支える収入源とは何ですか？

A : 主に農業、物々交換、手作り石鹼を売ったりします。しかし、物々交換では生活はできず、WFPから配給された小麦、ユニセフから支給された蚊帳も売り、生活に当ててしまう人たちもいます。

Q : 評価モニタリングの男女比率を教えてください。

A : 男性が圧倒的に多いです。調査地域が紛争地域や過疎部にあるので、身体的に男性の方が合うということも考慮されています。また、選考の際に大学以上の教育レベルということで、男性の比率が高いです。

Q : 道路・インフラの影響により地方に物資を届けるには時間がかかることが分かりましたが、情報も同じように行き届いていないのでしょうか？

A : 情報も道路、交通網と同じように欠如しています。たまに里帰りした家族が新聞を持っていったりすることがありますが、現地に行って伝えないと情報が伝わっていない状況です。ラジオも電波が届いていない、あるいは電気がないのでラジオなどの情報通信機が使えません。





ワークショップ
ピース・ウォー・ピース

東日本



西日本



インドの紙袋作り

東日本



西日本





【東日本】



コープながの

- ◆ 主に募金活動を実施している
- ◆ ハッピーミルクプロジェクト（牛乳1本につき1円の寄付）を実施
- ◆ 長野県連と共に、「虹のフェスタ」を実施（地域の人たちに、広く知ってもらう）
 - ・ チョコレートやコーヒーのインターネットで注文できるフェアトレードの紹介、フェアトレードカフェ
 - ・ ハッピーミルクプロジェクトにちなんだ、モザンビーク支援活動のクイズ、パネル、写真の展示
 - ・ スタンプラリー
 - ・ 若いご夫婦がお子様にユニセフの活動を教えていたのを見て、素材があれば若い人たちも参加してくれるというのを感じた。
- ◆ 親子が参加できるような、更にネットワークを広めていく広報活動をこれから考えていきたい。



なのはな生協

- ◆ ユニセフ支援活動4年目、スタッフは組合員から5名参加
- ◆ 年に2回のイベント：夏（親子のための企画）冬（ヨガなどの大人のための企画）
- ◆ 海外旅行の後を狙い、9月に外国コインを集める
- ◆ 「生協祭り」に参加
 - ・ スクールキットや水がめの展示、カードを売るなどの募金活動
 - ・ ステージを借り、スタッフが2択クイズを出す（5問正解：ユニセフ・カード）
- ◆ 「ユニセフ便り」を年2回発行
- ◆ 7月 スタンプラリー【参加費：1人200円+ポストカード、暖かい募金】
- ◆ イベント

小麦粉と水を混せて、チャパティを作る（親、スタッフがカレーを作る）

ビデオ鑑賞（「一枚のユニセフ・カードから」という内容のアニメ）

ユニセフ・クイズ、アフリカの地図のパズルゲームを作る

こねたチャパティを伸ばして、母親やスタッフが焼く

カレーと一緒に食べる

30家族ほどの参加があった。今回のイベントでチャパティ、カレー、デザートをつけて、参加者が2~3倍に増えた。デザートには、なのはな生協が取り扱っているアイス・キャンディー、大人には冷凍のケーキを提供した。来年は是非ユニセフすごろくに挑戦したいと思う。総合9,050円の募金をいただいた。



さいたまコープ

- ◆ 今年40周年にあたり「スーパーフェスタ」を実施予定（10月23、24日）
 - ・ ハッピーミルクプロジェクトを知ってもらおう！牛乳パックでできたオブジェ（牛乳パックの形）を作り、注目を集めたい
 - ・ パネルの提示
 - ・ 「願いの木」：大きな木の絵を描いておく。当日、参加者の思う「幸せ」を葉っぱの紙に書いてもらい、木に貼ってもらう。
- ◆ ハンド・イン・ハンド
 - ・ 昨年12月埼玉県内の店舗、駅前など22箇所で募金活動を実施（子どもたちが中心になって、店舗の中で募金を呼びかけた）
 - ・ 県支部の方をお呼びして、ユニセフの活動における学習会を開催
 - ・ チョコレートを使った「富の分配ゲーム」

- ・ カードやグッズの販売
- ◆ ラブウォーク 6キロの道のり【参加費：300円 ユニセフ寄付、タオル、カード】
 - ・ 下見回数：3回（歩道がないとか、危険だと思われる道を除いて本番）
 - ・ 完歩賞：菓子パンを用意
 - ・ 子どもは18人ぐらい参加。11月の気持ちいい天気の中、ゆっくり歩けた
- ◆ ハッピーミルクプロジェクトとユニセフの広報を合わせた活動を各地区で実施
 - ・ 牛乳を使った料理を紹介：クリームパスタ、ミルクちぢみ、デザートには粉ゼラチンを使ったブランジエ
 - ・ モザンビークがどのような国なのか、どのような支援が必要なのかを伝えた
- ◆ 今年11月に、クッキング教室を企画している
 - ・ 牛乳を使った、コース料理を紹介したい（スープや、前菜、デザート）
 - ・ 牛乳は飲むだけではなくて、料理にも使えるということを伝える機会



ちばコープ

- ◆ 広報誌おしゃべりひろばなど資料を配布
- ◆ 全体を6区に分けてる
- ◆ きやっせ 幕張メッセでのお祭り
 - ・ 6つのブースで展示をする（毎年ユニセフが入っている）
 - ・ 6エリアは、20周年でユニセフをテーマにした
 - ・ 体験コーナーを設ける（識字率ゲーム、水がめ、経口補水塩など）
 - ・ ユニセフすごろくを作成
- ◆ 2007年からコープ会を開催。店舗サポーターとユニセフとの交流。
 - ・ ユニセフについての説明の後、ちばコープについて、クイズ、ワークショップ（食料分配ゲーム、紙袋作りなど。）
 - ・ コープ会をきっかけに、募金やハンドに参加する人がいた。
 - ・ 963名がコープ会に参加
- ◆ ラブウォーク（マザー牧場）
 - ・ ユニセフ子ども広場オープン。チラシを持っていけば、子どもは無料。
 - ・ 昨年は、マザー牧場の各スポットでクイズ。今年は多目的ホールの中で、クイズ、すごろく、スーパーボールすくい。
 - ・ 募金箱を入り口に置く。



コープかながわ

- ◆ 組合員に、一般、指定、緊急募金の3つ募金の背景と役割を理解してもらいたい
- ◆ 1口1000円という募金枠を作った結果、支援が増えた
- ◆ 新人教育にユニセフ学習を含める（生協はどのようにユニセフなどの活動をしているかを理解してもらいたい）
- ◆ みるく募金
 - ・ マラウイを中心として、衛生設備がよくなつた、学校のトイレがきれいになつたなどの報告があつた。
 - ・ 組合員に、みるく募金のお知らせが、情報として伝えきれていない。
 - ・ みるく募金報告会を開いた。アフリカ音楽で報告会をスタートし、多くの人がアフリカやみるく募金の支持をしてくれた。
 - ・ 組合理事が、3チーム作り、WFPやユニセフについて学習した。まずは、自分たちが行動してみよう！ということで、自ら手作りの人形やパネルなどを作った。
- ◆ エリア会：学習会のツールとして、活動企画委員の人たちが、みるく募金についての紙芝居を作成。コープの牛乳11種類を飲んで、アフリカの子どもを助けよう！と呼びかけた。
- ◆ コープかながわのオリジナルのハンド・イン・ハンド：新横浜、桜木町ランドマーク（クリスマス前）恋人、親子連れが多い場所で、募金活動を実施。
- ◆ ラオス指定募金
 - ・ ちば県支部、ちばコープとともに、かながわゆめコープ、コープかながわでの協力募金

- ・目標額の5000万を越えた5800万円を、予定よりも早く集めることができた。
- ・学習会を通して、ラオスのいろいろな問題を学んだ。
- ◆ ユニセフの集いに参加し、パネル討論をした。
- ◆ おすすめ：「子どもの条件」アフガニスタンのビデオの上映会。かわいい女の子が主役。紛争、女子の教育がテーマ。



エフコープ

- ◆ 主に募金活動を実施
- ◆ 「ふれあい」というチラシを、全組合員に毎月配っている（その中で、2008年のユニセフ支援活動について報告）
- ◆ お年玉募金は根付いてきた（20年以上にわたり、多くの募金の支援をいただいた）
- ◆ 子どもたちが参加できるイベントを企画
 - ・平和の展示会、折り紙を折る会、朗読会など
 - ・水がめや地雷レプリカを借りて、ユニセフ支援活動を紹介
 - ・子どもたちに、いろいろな国の言葉であいさつを教える
 - ・10種類ぐらいの料理をつくった、50～60人ぐらい集まった
 - ・ワークショップ「逃げなければなりません、そのとき何を？」を実施
 - ・経口補水塩を目の前で作った、「おいしくない」と声があがったが、それで世界の子どもたちは救われているということを実際の経験を通して学んだ。
- ◆ 職員の研修に、ユニセフについての学習が含まれている。内定をもらった人たちが、長崎の平和学習に参加した。



コープみえ

ピースキッズ：

- 「優しい心、思いやりのある子どもを育てたい」という思いから、平和委員が作った。
- ◆ ハイチ料理を食べて、ハイチのことを知ろう！
 - ◆ ゲーム感覚で子どもたちに、いろいろなことを学んでもらう。
 - ・例：海賊ゲーム、宝探しゲーム。
 - ・参加者には、海賊の目／ネックレスとピースキッズのロゴをプレゼント
 - ・ユニセフやハイチに関係したクイズを出した
 - ◆ 11月末ハンドインハンド
 - ◆ 国際協力フェスタなどにも参加
 - ◆ ユニセフ・カードを売る



みやぎ生協

- ◆ 初夏と秋に、コープの集いがある。
 - ・その時にチラシやオレンジの募金袋を渡す
 - ・ユニセフについて学習
- ◆ フリーマーケットなどでユニセフグッズの販売
- ◆ 牛乳パックの回収募金
- ◆ 2009年の6月から ペットボトルのキャップを集めてユニセフ募金を開始
- ◆ 北海道、東北の生協と共にネパールの指定募金に取り組んでいる
- ◆ ユニセフ募金、協力キャンペーン（店舗に協力してもらう）
- ◆ エリア・リーダー研修会
- ◆ 親子で参加できる外国コインの仕分け活動
- ◆ 講師を呼び、学習する機会を設ける
- ◆ 12月の暮れに、繁華街でガールスカウト、ボランティアの大人数でハンド・イン・ハンド（寒い時期にみんなでがんばっている。その中で足をとめて支援をしてくれるので、やりがいを感じる。）

[西日本]



ならコープ

緊急募金への取り組み

with ユニセフの会が活動している（5年目：生協の組合員活動とは別に、ならコープの承認を得てコアとなって活動するグループ6人）

ユニセフ グッズを着用して講師派遣、イベント参加（料理作り）

ワークショップを豊富に取り組んでいる

自分たちの募金がどのように使われているのか？理解いただいた上で取り組んでもらう。

ビデオ（VTR）は古い、DVDにしてもらえないか



富山県生協

ユニセフクラブが参加型（親子）イベントを中心に進めている

7月の夏休み前に活動（2～3歳、16歳、親子の参加がある）

数々の失敗を経験して、進歩を遂げている

ワークショップ：ユニセフの立場、被災者（e.g.ハイチ） 現場の人たちは何を欲している？

- ・ 積み木を使って地震を体験させる。状況を疑似体験させて関心を寄せてもらっている
- ・ ORS（実際に作ってみる）と熱中症を重ねて、周りの実社会と世界の現実を体験してもらう

手作りでカルタ、紙芝居等を作成し、ラミネート加工して使用。絵を描いてくれるボランティアさんの協力のもと、ボランティアさんの体験等をカルタの文言に使用。

カルタは大人気（ユニセフの状況を描写）

- ・ 失敗談は、シミュレーションの中で、例えば、毒を飲みましたと言うと泣き出した子どももいた。双六は子どもには難しい。楽しみながら、欲張らずに、関心を持ってもらえるように心がけている。

生協の理念とユニセフの活動が共感していること、小難しい数値等の説明は子どもたちの心に響かない。

イベントの参加してくれた子どもたちには参加証を発行、ユニセフキッズになってもらえる子どもを増やす

県内のシンセサイザー演奏者によるCDを作成。500円で販売、全額ユニセフに寄付
学校との協力体制を築いていきたい。



コープいしかわ

日常的な募金活動を行っている。

封筒での募金は実施が難しい、最近はOCR、緊急募金が必要なときには、店舗等でも募金箱を設置。

カレンダー募金に取り組んでいる（7万円の募金ができた）

具体的なイベントなどは実施していないが、9月にコープフェスタを実施し、展示コーナーも受け持つことになっている。アグネス大使の講演会を実施予定。



おかやまコープ

募金活動、親子での学習を実施している。

子どもサミット、平和の切り口でユニセフを取り上げている

県支部との連携

蚊帳、地雷等を用いている

新たなグループを立ち上げ、今後の啓発活動を実施する予定



コープえひめ

活動の中心は担当が活動している地域に偏ってしまう

ハンドの取り組みは全域で活発

県支部との連携

ピースセミナー（生協主催、ユニセフグループと共に開催）を開催している。
新聞社の取材も受けて、取り上げられている
ユニセフのビデオを用いてイベント（画像を見て子どもたちを対象にお話すると、なかなか飽きない）
親子でろうそく作り（時間割りがなかなか難しい）子どもたちは熱中して、時間内に収まらなかった。
機関誌にユニセフ特集を組んでいる。機関誌のなかで、プレゼントクイズ。回答を支援している国名にすることで明らかにしている。次回の商品を何にするか悩んでいる。
ワークショップなど、イベント使用する資材は100円均一で売っているものを活用している



コープあいち

ピースキッズというグループをつくっている

- ・ 生協の活動をサポート、県支部をサポートしている。

子どもを対象に、毎回子どもたちを対象にプログラムをオリジナルで作っている。

- ・ ハイチの緊急に合わせて、クイズ、宝探し等を用いたワークショップ
- ・ 世界の料理を取り上げて、アレンジしたレシピを紹介
- ・ 6歳～小3（14名、保護者5名）が参加した料理イベントは、怪我しないようにカットした素材を用いて調理してもらった
- ・ イベント参加をきっかけに、将来的にユニセフ支援活動をしてくれる子どもたちも出てきた学習交流会を通じて知り合ったコープならさんと連絡を取って、実際に見学にいった。
双六が大きすぎて使いにくい（使えない）オリジナル版が必要？
ユニセフサロンを開催している（毎回3～4人参加）ユニセフのボランティアをしたいというお申し出が結構ある。年間をつうじて参加してもらえるイベントがないため、申し出があっても消えていく。サロンを通じて、受け皿を設け、オリジナル双六作成を実施している（つなぎとめ）



コープあいち

3月に合併しました

旧めいきん：

多文化の方々が集まってブース出展して交流することを実施
サマーセミナー（1000講座の一つをユニセフの充ててもらい講座を実施）。呼び込みをしないと人は来なかったのが、今は何もしなくてもユニセフに関心を示す人が殺到する
ユニセフ視聴覚ライブラリーで取り扱っているVHSがDVDであると助かる（欲しい）
基礎リーフレット、ユニセフニュース等、資材を用いて90分の講義（高校生が多い）をもっている
平和展に毎年参加、子ども兵士の話、ユニセフの資材を使用してお話している。

- ・ 既存の資材を活用し、助かっている。
- ・ できるだけ多くの機会でユニセフの話をして回っている

旧みかわ：

ハンドを5年前ほどから積極的に実施（理事会で承認）
店舗でのハンドが毎年取り組んでいる（24か所）

- ・ 地元（豊橋）の私立高校（平和活動に積極的）の生徒、先生を巻き込んで実施

取り組みの広がりに停滞がみられるが、ハンド、グッズを用いて、参加を呼び掛けている
緊急募金には迅速にOCR、店頭募金で取り組めるように仕向けている
新しいサークルを立ち上げて（青い鳥）平和との兼ね合いでユニセフ支援活動に取り組んでいる
夏休みにイベントをしかけると子どもの参加も望めるだろう



鳥取県生協

募金活動を中心

ここ数年は組合員を対象に実施したイベントはない

研修・交流会などに参加していなかったのでノウハウがなかった

ハンド・イン・ハンドに取り組んでいる

資材を配布する

ワークショップを通して学ぶことは多い（プレゼンだけでは・・・）

東日本



西日本



リーダー研修・交流会にご参加くださいました皆様、
誠にありがとうございました。



ユニセフ・ミャンマー活動報告会 静かな緊急事態：幼い命を守るために

日 時 2010年6月10日(木) 午後3時～5時

場 所 ユニセフハウス 1Fホール

報告者 國井 修 氏 (ユニセフ・ミャンマー事務所 保健・栄養部長)



© UNICEF

アジアでアフガニスタンに次いで子どもの死亡率の高いミャンマー。活動する支援団体が少なく、厳しい状況が続いている中、2007年にはサイクロンが襲い、14万人以上の死者・行方不明者、200万人の被災者を生みました。この3年間のミャンマーでの活動をミャンマー事務所の國井修さんが報告されました。

ミャンマーは、政治的な問題から経済制裁を受けており、国際援助の額が1人あたり3米ドルしかありません。(生活水準の等しいルアンダでは400米ドルの援助があります。)

静かな緊急事態

災害が起らなくても、毎日300人の子どもと10人のお母さんが亡くなっています。ミャンマーでは、多くの子どもが、肺炎、下痢症、敗血症、マラリア、脳炎などで亡くなっています。そのほとんどが予防・治療できる病気です。

ミャンマーでは、政府の保健予算が国民一人あたり年間2米ドルと非常に低く、海外援助も少ないとから、予防・治療が十分にできていません。また、病院や医師、薬などが不足し、インフラも十分整備されていません。



© UNICEF

ユニセフの現地での役割と実践

ユニセフは、物資の供給・管理にとどまらず、関係者の人材育成や、健康に対する啓蒙活動、政府への働きかけ、各援助機関との調整作業も行います。また、これらの支援を組み合わせ、包括的に活動を進めています。

2000年時点では出生1000に対して97だった死亡率も2007年には77に減少。順調に減少していますが、2015年には43まで減らすという目標にはまだまだ遠い状況が残っています。



© UNICEF

サイクロンが発生した2007年には、全国の生協から1億1,000万円以上の募金が寄せられました。皆さまのご支援、本当にありがとうございました。サイクロン被害だけでなく、日常的に静かな緊急事態が起こっている状況を知り、ミャンマーのこれからに目を向けていきたいと思います。

緊急支援情報



パキスタン緊急募金 第36報

子どもたちが安心できる場所を

[2010年8月31日 パキスタン発]

ユニセフのアンソニー・レーク事務局長は、8月31日、2日間にわたるパキスタン視察を終えました。今回の視察で、レーク事務局長は、パキスタンが直面している未曾有の緊急事態の状況を目の当たりにしました。モンスーンによる異例な豪雨による洪水被害で、1,700万人以上の人々が被災しています。

懸念される感染症の大流行



©UNICEF/NYHQ2010-1646/Ramoneda

カイバル・パクトゥンクワ州チャルサッダにある避難所となっている小学校で、ポリオのワクチンを投与するユニセフのアンソニー・レーク事務局長。

ユニセフは、飲料水の提供やトイレの設置、保健、公衆衛生、子どもの保護のための活動を展開しています。

レーク事務局長は、避難キャンプで、州の災害対策担当者と面会。被害状況の説明を受けました。また、レーク事務局長は、ユニセフとパートナーが行っている教育やレクリエーション面、そして保健分野での支援活動を、精力的に視察しました。子どもたちが興じるゲームに加わったり、避難キャンプにいる女性たちから、自宅を失い、ほとんどの所持品を失った洪水被災者たちが直面している困難な状況と問題点を聞いて回りました。

「ユニセフは、できることは全てやるつもりです。これは、この緊急事態の間だけというわけではありません。現在の緊急事態が終息に向かっても、支援活動を継続していきます。」レーク事務局長は、避難キャンプを視察中、同行した報道関係者にこう話しました。また、ユニセフが、人々の命を奪う危険性のある病気の流行を非常に懸念しているとも語りました。

安心できる場所

「パキスタンは、ポリオの感染例が現在でも確認されている、世界でも数少ない国のひとつです。ですから、世界中の国々が、はしかや下痢性疾患、ポリオだけでなく、他

の疾患の流行を防ぐ最善の方法を探し、注意を向け続ける必要があります。」「この特異な地域は、とても多くの様々な理由で、非常に重要な地域なのです。」

建国史上最悪と言われている今回の大災害により壊滅的な影響を受けているパキスタンで、チャルサッダにある避難キャンプは、人々が安心することができる数少ない安らぎの場所となっています。パキスタン全域で、860万人近くの子どもたちが洪水による影響を受け、約350万人が下痢性疾患の脅威に晒されています。ユニセフは、さらなる支援が早急に行われなければ、さらに被害が拡大する恐れがあると、



©UNICEF/NYHQ2010-1677/Ramoneda

カイバル・パクトゥンクワ州チャルサッダにある避難所となっている小学校で、ユニセフの支援で設置された「子どもに優しい空間」で、ボードゲームに興じる子どもたち。

警鐘を鳴らしています。

* * *

今回大洪水の被害を受けた地域は、内戦などによって多くの人々が避難生活などを行っていた地域でした。(財)日本ユニセフ協会では、緊急募金を受け付けております。みなさまのご協力をお願いいたします。

パキスタン緊急募金
郵便振替: 00190-5-31000
口座名義: 財団法人日本ユニセフ協会
*通信欄に「パキスタン」と明記願います。
*窓口からの振込みの場合、送金手数料免除
クレジットカードで募金する
インターネットバンキングで募金する
コンビニエンスストアから募金する
三井住友銀行: 緊急募金受付口座を開設しています。 (手数料減免。 http://www.unicef.or.jp/kinkyu/pakistan2/2010.htm)
*当協会への募金は寄付金控除の対象となります。

なお、当緊急・復興支援に必要な資金を上回るご協力をいただいた場合、現在行われている他の緊急・復興支援に活用させていただくことがありますので、ご了承願います。

パキスタン募金取り組み生協一覧（9/6 時点日本生協連把握分）

生協名	名称	店舗	宅配	その他の募金方法	募金先
みやぎ生協	パキスタン緊急募金				ユニセフ
コープふくしま	パキスタン洪水ユニセフ緊急募金	8/19～9/17	9/6～9/10		ユニセフ
いばらきコープ	パキスタン洪水 人道支援緊急募金	8/7～9/20	8/9～9/17 一口 100 円または 1,000 円		ユニセフ
パルシステム茨城	パキスタン洪水被害被災者支援カンパ	8/30～9/24	9/13～9/24 一口 300 円		日本赤十字社
ちばコープ	パキスタン洪水 人道支援緊急募金	～9/20	8/16～9/17 一口 100 円または 1,000 円		ユニセフ
パルシステム千葉	パキスタン洪水被災者支援力	8/23～9/3	8/23～9/24 一口 300 円		ユニセフ
さいたまコープ	パキスタン洪水 人道支援募金	8/7～9/20	8/9～9/17 一口 100 円または 1,000 円		ユニセフ
コープとうきょう	パキスタン洪水 人道支援募金	8/21～9/20	8/9～9/17 一口 100 円または 1,001 円		ユニセフ
パルシステム東京	パキスタン洪水被災者支援力	8/23～9/17	8/23～9/17 一口 300 円	一次金として、30 万円を立て替えて「難民を助ける会」口座に振り込み	
ユーノープ事業連合	パキスタン・アフガニスタン洪水被災支援緊急募金	8/12～9/7	8/30～9/3 一口 100 円または 1,000 円		ユニセフ
コープかながわ	パキスタン・アフガニスタン洪水被災支援緊急募金	8/12～9/8	8/30～9/3 一口 100 円または 1,001 円		ユニセフ
市民生協やまなし	パキスタン・アフガニスタン洪水被災支援緊急募金	8/12～9/8	8/30～9/3 一口 100 円または 1,002 円		ユニセフ
コープしづおか	パキスタン・アフガニスタン洪水被災支援緊急募金	8/12～9/8	8/30～9/3 一口 100 円または 1,003 円		ユニセフ
コープながの	パキスタン洪水人道支援緊急募金	8/14～9/20	8/16～9/17 一口 100 円または 1,000 円		ユニセフ
コープにいがた	パキスタン洪水人道支援緊急募金		～9/17 一口 100 円または 1,000 円		ユニセフ
コープぎふ	パキスタン緊急募金	～9/20	～9/20 一口 100 円または 1,000 円		
コープみえ	パキスタン・アフガニスタン洪水被害ユニセフ緊急募金	8/30～9/20	37、38 号 一口 100 円		ユニセフ
ならコープ	パキスタン・アフガニスタン洪水被害支援		9 月 2 回～9 月 4 回		ユニセフ
京都生協	「パキスタン」「アフガニスタン」へのユニセフ緊急募金		8 月 4 回～9 月 3 回		ユニセフ
大阪北生協	パキスタン豪雨被害			災害緊急支援拠金から 30 万円	ユニセフ
コープこうべ	「パキスタン豪雨被害」被災地支援			コープこうべ災害緊急支援基金より 50 万円を拠出	ユニセフ
おかやまコープ	パキスタン水害被災者に対する緊急医療支援活動			おかやまコープ AMDA (アムダ) 基金より 50 万円	AMDA
コープみやざき	パキスタン緊急募金	8/13～9/24	9/13～24 一口 100 円		ユニセフ

ぼむぼむ広場

編集後記

暑い夏でした～！ それでも負けずにあちこちでかけ、UV 対策も空しく、地黒の私に磨きがかかりました。リーダー研修会では、松永さんはもちろん、前向きでできなの方々と出会えました。皆さん、これからも「ポムポム」を宜しく！（松本）

編集会議に参加できない日々が続き、もっぱらレイアウト担当。発行日直前でする作業は、ちょっと夏休みの宿題を居残りでやっている気分デス。でも、様々なユニセフ活動や編集委員の力作の原稿を読みながら、思いは世界の子どもへ。（尾澤）

ユニセフ*コープネットワーク



No.48 2010年9月15日発行

編集 グループ ぼむ・ぼむ

スタッフ・編集 / 相澤・尾澤・谷杉・浜崎・福本・
藤森・松本・山本・谷口・朝倉

イラスト / 蟻沢

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コープフサ 11F

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://www.jccu.coop/>

ぼむぼむ通信第49号をお届けします。

リーダー研修・交流会が開催されました。現地報告をしていただいた松永さんのお話は参加者の皆さん的心を打ちました。夏休みということで各地で親子向けの学習会が開催されました。パキスタン緊急募金へのご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

全国の活動事例や、ぼむぼむ通信の感想・ご意見をお待ちしております。

次号は、2010年12月15日発行予定です。